

まちのニュース カメラアイ ～地域の問題をお届けします～

10/22
(土)



元気いっぱい！おゆうぎ会

和寒町保育所でおゆうぎ会がおこなわれ、会場に入りきれない程集まった保護者やおじいちゃんおばあちゃんに見守られながら、約100名の子どもたちが精一杯合唱やダンスなどを披露しました。

10/20
(木)



100名が介護技術を学ぶ

和寒町社会福祉協議会が「平成28年度介護実技講座」を開催し、デイサービスセンター健楽苑に約100名の介護従事者等が集まりました。

講師の下山名月さん（生活とリハビリ研究所研究員）から「介護技術を身につけよう！～防げる事故はなくそう～」をテーマに講演と実技指導を受け、「本人の自然な動きを援助することが大切」「力の量ではなく、方向やタイミングなど力の質が大切」など、実践を交えながらのアドバイスに、参加者は大きくうなずきながら介護技術への理解を深めていました。

10/23
(日)



学芸会で練習の成果を披露

和寒小学校で学芸会がおこなわれ、全校児童155名がこの日のために練習を重ねてきた劇や合唱、合奏を披露しました。

訪れたご家族は、学校生活で成長した我が子を見守り、暖かい拍手を贈っていました。

10/21
(金)



「生」美里にファン熱狂

歌手の渡辺美里さんの道内ツアー「北海道☆なんなら会いたかったよ！ツアー☆」和寒公演が公民館で開催され、町民や道内外のファン約440名が会場を埋め尽くしました。

町花カタクリをイメージした紫やピンクの衣装でステージに登場した渡辺さんは「恋したっていいじゃない」「世界で一番遠い場所」「My Revolution」などヒット曲18曲を熱唱し、会場のファンもコンサートの開演直後から総立ちで声援を送るなど、大盛り上がりの一夜となりました。



10/31
(月)

障がいとは何か、差別とは何か

名寄市にある道北センター福祉会道北地域生活支援センターから、市川大介相談支援専門員とピアサポーター（自らも障がいを持つ支援者）3名を招き、「障がいのある方と一緒に考える差別・偏見・権利について」と題した権利擁護講演会が保健福祉センターで開催されました。

うつ病や自閉症などの精神疾患の特徴や、ピアサポーターによる長期入院者の退院支援の事例報告、今年4月から施行された障害者差別解消法について講演があり、市川さんから「社会や地域にある差別・偏見の方こそ『障がい』なのかもしれません」と話され、集まった約70名の参加者はうなずきながら理解を深めていました。



10/25
(火)

近所でお買い物「ご利用聞き隊」

商工会商業部会で毎年おこなっている「ご利用聞き隊」が、3回に分けておこなわれました。

新たに三和・菊野自治会館にも出向くなど、交通手段が無くなかなか買い物に行けない方々への支援として町内5ヶ所を回りました。

会場を訪れた方は「わざわざ来てくれてありがとうございます」と、店主や近所の友人と会話しながら買い物を楽しんでいました。



村岡 美也さん撮影



茶円 覚さん撮影

11/4
(金)

地元の仕事を1日体験

和寒中学校2年生23名が、町内9事業所で職場体験学習をおこないました。

役場の仕事を体験した2名は広報として各事業所の取材に出向き、体験中の同級生にインタビューをしながら写真を撮り、パワーポイントを使って役場の事務室で原稿を作成しました。

生徒たちは、「難しいけど、憧れの職業を体験できてうれしい」「体験で学んだことをこれからの学校生活につなげていきたい」と話していました。



10/28
(金)

農村生活体験を終えて

喫茶にれで農村生活体験激励・感謝の会がおこなわれました。実習生の畠 弥生（はた やよい）さんが5ヶ月間の体験を終え、受け入れていただいた農家の方と実習期間を振り返り、笑顔が絶えない心に残る時間を過ごしました。

畠さんは引き続き本町に滞在し、極寒の冬を体験していきます。